

丹波篠山・福の住む里 福住さとねっと

Fukusumi Sato Net



令和5年1月21日

第 157 号

発行：福住地区まちづくり協議会
〒669-2513 丹波篠山市福住 342
TEL&FAX：079-557-0116
メール：fk.machikyo@gmail.com
http://fukusumiweb.tanbasasayama.com/



関西大学住環境デザイン研究室では、バス停「福住」待合所の改修プロジェクト第1弾が昨年12月に終了し、一緒に取り組んできた県立篠山東雲高校の生徒のみなさん、先生方、地域の方々と完成式を行いました。第1弾では、待合所の内装とベンチの改修を行いました。引き続き今年の第2弾では、外装の施工を行います。

また、11月には、県立篠山東雲高校の生徒のみなさんと、福住のまちなみを彩る園芸デザインとして竹のプランターボックスを考案し、竹の伐採から加工まで一緒に取り組みました。完成したプランターボックスは、丹波篠山市福住重要伝統的建造物群保存地区選定10周年記念フォーラムで展示しました。プランターボックスは今年5月の全国大会に向けて、さらに改良と製作を続けていく予定です。

バス停待合所の改修とまちなみへの提案に向けて、活動を続けていきます。ご意見等ございましたらお気軽に下記までご連絡よろしくお願ひ申し上げます。

●連絡先：関西大学 住環境デザイン研究室
(代表) 片岡侑子
電話：080-2996-3009
メール：yuko10761115@gmail.com

竹のバス待待合所

第1弾終了!! 関西大学 建築学科 住環境デザイン研究室

福住地区まちづくり協議会(事務局：若手グループ「ツギテ」)では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止していた真冬の恒例イベント「ふくすみ雪花火」を3年ぶりに開催します。

今年の会場は、福住地区の西部、熊野新宮神社及び周辺で実施します。久しぶりの恒例イベント、真冬の澄み切った夜空に浮かぶ「フライングランタン」「花火」をぜひ、お楽しみください。

また地域のみなさんによる屋台の出店や関西国際大学のみなさんのデザインによる「竹燈」も設置します。

みなさんのお越しをお待ちしています!

【当日スケジュール】

- 18:30～ 屋台出店
- 19:30～ フライングランタン (約50基)
- 20:30～ 花火打ち上げ

2月4日(土) 「ふくすみ雪花火」を3年ぶりに開催します!

NPO 法人 SHUKUBA 「米粉の日」

SHUKUBA 加工所 daidocolab. (だいどころらぼ) では、ご好評いただいております製粉機を使った米粉加工を承っております。(1kg から) 希望者の方には真空パックにてお渡ししております。

- 加工賃：1kgあたり 420円
- 真空パック：1kgあたり 25円
- 申し込み：ご希望の方は加工所営業時間に電話(080-9534-4275)まで
- 営業時間：月・水・木曜日の9時～17時

「米粉の日」を毎月第4月曜に定期開催します!

1月は30日(月)、2月は27日(月)開催予定です。



一本杉販売所だより

みなさん、明けましておめでとうございます!

今年も地域の農産物・特産品の直売所「一本杉販売所」とおかあちゃんの味「農家レストラン福住」をよろしくお願ひ申し上げます。販売所は、冬季の間は土・日の営業です。農家レストラン福住は通常営業をしていますのでご利用ください!



「SHUKUBA イルミネーション」を点灯！

= SHUKUBA 情報 =



12月19日～1月1日までの間、午後5時から9時まで「SHUKUBA イルミネーション」を行いました。

校舎や裏庭、植木などに30mのLED電飾球ロープ10本を張り巡らして、夜のSHUKUBA校舎を彩り、クリスマスと年末年始を温かい雰囲気でお迎えしようと演出しました。

校舎の3階から前庭に長さ15mの電飾球ロープを4本垂らし、クリスマスツリーに見立てました。裏庭は、高さ15mほどのモミの木の枝に電飾ロープを吊り下げ、その下には花壇を取り巻くように花の輪の色点滅を彩りました。

初めての試みでしたが、点灯準備にご協力いただいた関西国際大学の学生さん、まちづくり協議会の方々にお世話になり、実施できました。

今回は、企画、準備段階から多くの方々にご参加いただき、多様なレイアウトを考えていただき、よりよい楽しい、心温まるものを演出できるように思っています。

みなさまのご参加をお待ちしています。

集落だよりNo.12～藤之木（ふじのき）～

福住地区各集落の取り組みや行事などの集落情報をお伝えする「集落だより」。

今回は、藤之木自治会長の笠井好彦さんから投稿いただきました。

<新年の伝統行事>

令和5年1月8日、午後6時から毎年恒例の「お日待ち」の村祈禱を日置宮司のもと、村人ほぼ全員参加して行い、1年間の平穏を祈りました。

今年もまだまだコロナ感染予防が必要なため、神事のみとなりましたが、厳粛に行いました。

宮司さんのお言葉にもありましたが、これまで長く続いてきた伝統行事をこれからも村人全員で守り続けて行きたいとあらためて感じました。

また、翌朝には山の神さんでお神酒をいただき、もち焼きをして2日間の新年行事を無事に終了しました。

今年も1年、村人全員が平穏無事に過ごせますように！



よみがえる宿場町！

= 全国伝建協総会・研修会福住地区実行委員会 =

今年5月に開催される第45回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会丹波篠山市大会まであと4か月。開催準備も大詰めを迎えております。

5月22日(月)から24日(水)の3日間の内、特に3日目(5月24日)には、全国の伝建協加盟市町村から多くの視察研修参加者が福住地区を訪れます。

平成24年12月に国の重伝建地区に選定されて以来、伝統的な町並みの美しい景観を維持するため、補助金を活用しながら整備を進めており、来る丹波篠山市大会を絶好の機会として、福住地区の魅力をアピールしたいと思います。

去る1月6日(金)には、福住在住の新井孝様から江戸時代に武家屋敷や旅籠などに設置されていた風情の灯籠8基(大2基・小6基・木製・電灯入)の寄贈を受けました。

すべての灯籠は、精巧で丁寧に製作されており重厚感があり、宿場町として賑わった往時の町並みを偲び、先人が残した貴重な財産(資源)を後世に継承することを目的として、宿場町エリアの景観にふさわしい場所に設置させていただきます。



福住地区実行委員会の活動も、当初開催予定の令和2年(2020年)丹波篠山市大会に向けて平成29年8月に発足以来、新型コロナ禍等があり6年が経過しましたが今年5月のゴールが近づいてきました。

1月20日(金)に開催しました令和4年度第7回実行委員会では、残り少なくなった準備期間を踏まえて、企画・総務・事業部会の担当項目について活発な議論を交わし、課題や問題点等の解決に取り組んでいます。

また、実行委員会のほか、まちづくり協議会、自治会長会、まちなみ保存会、街並み案内人グループが一体となり「オール福住」で取り組むことを再確認しました。

丹波篠山市大会まであとわずか4か月。福住地区の皆様をはじめ、大会を支えていただく関係機関の皆様、大会の成功を見守っていただいている多くの方々には、さらなるご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。